

「悲願の経済産業省本省認可成る」

日本再生資源事業協同組合連合会
会長 紺野武郎

この度日資連は、経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課を原局とする全国組織団体として認可して頂きました。まだ最終的な事務手続きは残っていますが、本省認可獲得の悲願が、37年目にしてついに達成されたこととなります。

リサイクル推進課の現職の横山課長様はもとより歴代の課長様や全国中小企業団体中央会の及川部長様はじめ内外の多くの方々に賜りましたご厚情ご支援に対しまして心から感謝申し上げます。

日資連が本格的に組織の改革と拡充そして本省認可の取得運動に乗り出した原点は、平成15年1月のシステムプランニング(S P)委員会の発足にさかのぼります。関東地区の若手幹部と青年部を中心とした有志諸君が、1年間で100回近い手弁当の検討会議を開き、日資連の現状分析からあるべき未来像の企画立案までまとめて下さいました。

S P委員会の答申案を受けて、同年12月にはS P委員会の団結を引き継いだプロジェクトNが立ち上がり、日資連としての新たに掲げられた理念に基づく組織の改革と拡充を実行に移すことになりました。プロジェクトNのチームワークによって「情報伝達の迅速化」「財政の健全化」「再生資源回収事業者認定制度」「日資連リサイクル化証明書発行」と、S P委員会が描いた大きな夢が実現し、この度の本省認可へと繋がりました。

プロジェクトNが達成した功績の中で、特に『全国中小企業団体中央会』の活路開拓調査実現化事業として支援して頂いた「自主認定制度とリサイクル化証明書の普及」そして「全国都道府県の正会員加入促進状況」は、既存の広域組織団体が衰退の一途を辿っている時代に、管理体制の充実した制度で自らを律し、組織拡充を進めているとして関係省庁の高い評価を頂きました。

我が国が構築する持続可能な資源循環型社会の3R政策に、必要欠くべからざる業界と認定して頂いたものと確信致します。

この一連の改革達成は、長く日資連の歴史に特筆されるものと思いますが、今こそ本省認可を契機に新たなスタートラインと受けとめて、課せられた使命と責任を重く自覚して、全国制覇の組織拡充と社会貢献に邁進しなければならないと日資連は考えております。日資連の更なる飛躍に、会員各位の倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。